

国立大学法人東京科学大学（仮称）設立に伴うWeb  
サイト管理システム構築・運用 一式

企画競争審査要領

令和5年10月

国立大学法人東京工業大学  
総務部広報課

# 審査要領

## 1. 概略

提案書等に基づき審査を行い、評価が最も高かった者を契約予定者として採択する。提案を確認できない審査項目は不可とし、一項目でも不可と判断された場合は不合格とする。なお、審査期間中に必要に応じて提案の詳細に関する追加資料の提出又は面接を求めることがある。

## 2. 審査方法

### (1) 一次選考（書類審査）

参加者について、あらかじめ提出された提案書等をもとに別表の審査基準に基づき採点し、上位の者から三者程度を選定する。選定された事業者が、二次審査（プレゼンテーション審査）に参加できるものとする。なお、参加資格に満たない者は、一次審査前に審査対象から除外する。

#### ①審査方法

各審査員の各項目（加点項目を含む）の合計点数の上位三者程度を一次審査通過者とする。

#### ②結果通知

結果は、審査終了後に「提案書提出票」担当者にメールにより通知を行う。なお、審査内容や、結果に関する問い合わせ、異議申し立ては受け付けない。

### (2) 二次審査（プレゼンテーション審査）

一次審査で選定された事業者によるプレゼンテーションを実施するものとし、実施方法等の詳細は別途通知する。後述の審査基準に基づいて審査を行う。

#### ①プレゼンテーションについて

- ・審査員が理解しやすいよう、提案内容は簡潔に説明すること。
- ・プロジェクターを使用し説明すること（使用するプロジェクターは本学で用意する）とし、投影する資料は二次審査当日に USB メモリまたはパソコンに保管したうえで持参すること。また、別途審査員へ配布を希望する資料がある場合は 20 部用意したうえで持参すること。
- ・パソコンを持参する場合は、本学の用意するプロジェクターと HDMI ケーブルで接続可能なものを持参すること。
- ・投影する資料の電子データは本学に提出すること。
- ・説明人員は、5 名以内とすること。
- ・時間は 1 事業者あたり 55 分（説明 25 分、質疑応答 30 分）を予定しているが、詳細については二次審査に進む事業者にのみ別途通知するものとする。

#### ②審査方法

- ・提案書及びプレゼンテーションに基づき提案内容を評価し、合計点数が最も高い者を業務委託候補者（第一交渉権者）とする。
- ・合計点数が最も高い者が 2 以上（同点）ある場合、「価格点」が高い者を業者委託候補者（第一交渉権者）とする。
- ・合計点数が最も高い者が 2 以上（同点）で「価格点」が同じ場合は、実施体制・履行能力の点数が高い者が業務委託候補者（第一交渉権者）とする。

#### ③結果通知

結果は、審査終了後に「提案書提出票」担当者にメールにより通知を行う。なお、審査内容や、結果に関する問い合わせ、異議申し立ては受け付けない。

## 3. 審査基準

別表の審査基準を参照のこと。

なお、加点項目の点数を除き、合計点数が 50 点未満の提案は不合格とする。

提案項目	審査基準	配点	
1. Webガバナンス (Webガバナンス計画策定、メディアプラットフォーム構想、デザインシステムの検討)	Webガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の組織特性をよく理解した、現実性のあるWebガバナンス計画となっているか</li> <li>・現行サイトのことがよく調査されており、現在の運用から無理なく着実に拡大し将来的には全学のメディアプラットフォームとなる提案になっているか</li> <li>・汎用性が高く、全学的に有効に活用され、運用し育てられるようなデザインシステムの構成や計画になっているか</li> <li>・技術や手法やプロセスなどの各種トレンドをよくキャッチアップしており、それらが全体計画に活かしているか</li> </ul>	15
	メディアプラットフォーム構想		
	デザインシステム (概念)		
2. 主要サイト・情報設計	サイト設計プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案者の思い込みや主観によるものではない、根拠のあるWebサイト設計のプロセスとなっているか</li> <li>・本学の素案を越える有効なコンテンツ提案がなされているか</li> <li>・魅力的なメディア情報の打ち出し方となっているか</li> <li>・既存の資産を有効に活用した移行提案になっているか</li> <li>・本学の素案を基に、現実的なティザーサイト構築提案になっているか</li> </ul>	13
	サイト構造・ナビゲーション設計		
	トップページ		
	全学サイトの掲載コンテンツ (ファクト情報)		
	全学サイトでのメディア情報の打ち出し方		
	現行サイトからのコンテンツ移行		
	ティザーサイト		
3. 企画・制作 (コミュニケーションデザイン)	企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアプラットフォームにおけるニュース・イベント・ストーリー等の取り扱いを前提とした企画となっているか</li> <li>・大学の主たる活動である教育・研究や、そこで活動する学生・教職員について、偏ることなくバランスよく取り上げているか</li> <li>・科学大のアウトプットとして最低限の品質保証を一定に保つために必要なことを可視化、明文化したライティングガイドラインとなっているか。また、運用可能なレベルの適切な粒度のガイドラインとなっているか</li> <li>・例示された実績がライティング、アートディレクション表現として大学の取り組みや活動とマッチしているか、魅力的なものになっているか</li> <li>・本学の示した課題を積極的に解消できる提案となっているかどうか</li> </ul>	6
	編集方針・ライティング		
	アートディレクション		
	CMS投入		
4. フロントエンド構築 (画面設計・UIデザイン・プロダクトデザイン)	デザインレギュレーションの草案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学において持続的な運用が可能な提案となっているか</li> <li>・(デザイントークンなど) 設計から実装まで一貫性を意識した開発構成を選択できているか</li> <li>・インクルーシブなWebデザインとして、エンドユーザーの多様性が意識されているか</li> <li>・技術選定の理由が明確に説明できており、本学の期待にマッチするか</li> </ul>	9
	実装 (利用する技術構成)		
	開発環境 (統合開発環境)		
	外部連携・外部サービス・SaaS		
	デザインシステム (構築)		
5. バックエンド構築 (CMS)	CMSの選定・提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の構想を実現可能なCMSが選定されており、そのことが十分に説明されているか</li> <li>・CMSを中心とする技術スタックが、全体として整合性のあるものとなっており、構築・保守・運用はもとより将来的な拡張性に対して開かれた提案となっているか</li> <li>・CMSの機能について、要件対応表で詳細が十分に記載されており、本件で採用することに問題のないことが確認できる</li> <li>・技術スタック動画における説明のポイントが、本学が重視しているポイントをついたものとなっており、構想全体を読み解けていることが伺い知れる</li> </ul>	14
	技術スタックの提案		
	要件対応表		
6. インフラ要件定義支援	インフラ要件提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東工大の現行のインフラ環境を理解できており、次世代のインフラ環境として運用に無理のない提案となっているか</li> </ul>	4
7. 本番化	本番化作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に本番化の計画が立てられる提案であり、必要十分な程度リスクにも備えられる見込みである</li> </ul>	2
8. サイト運用・システム保守	コンテンツ運用に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学が期待する伴走イメージにマッチしているか</li> <li>・期待する役割を担える体制となっているか</li> <li>・一貫性・継続性が考慮された保守・運用の設計提案となっているか</li> <li>・参考価格が、本学の予算規模に適した妥当な金額であるかどうか</li> </ul>	8
	サイト運用に関する提案		
9. プロジェクト管理	プロジェクト管理ツール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発過程で蓄積されたナレッジや資産についてサイトリリース後も活用することを前提に、プロジェクト管理方法やツール選定を行っているか</li> <li>・関連プロジェクトの影響に柔軟に対応できるスケジュールとなっているか</li> <li>・本事業を実現するのに十分な実績と専門性を持ったメンバーがアサインされており、プロジェクトが円滑に機能するチーム体制となっているか</li> <li>・有効なプロジェクト管理手法を用いて、計画通りの品質が保証された成果物が納品される提案であるかどうか</li> <li>・粘り強くコミュニケーションを取り、十分な相互理解に達するようなプロジェクト進行が期待できるか</li> </ul>	9
	プロジェクト管理手法		
	想定スケジュール		
	実施体制		
提案事業費		<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業費による評価 (価格点計算式 (※1) による)</li> </ul>	20
		計	100

ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標（※2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）</li> <li>・次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）</li> <li>・青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定（ユースエール認定企業）</li> </ul>	5
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

※なお、提案書作成の条件を大きく逸脱している場合は、評価しないことがある。

※1 価格点計算式（提出のあった見積書の額を価格とする）

見積書総額に関する計算式

価格点=最低提示価格÷貴社提示価格×20点
-----------------------

※2 ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標

女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）

・プラチナえるぼし（※3）＝2点

・えるぼし3段階目（※4）＝1.5点

・えるぼし2段階目（※4）＝1点

・えるぼし1段階目（※4）＝0.5点

・行動計画（※5）＝0.3点

次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナ認定企業）

・プラチナくるみん（※6）＝2点

・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）（※7）＝1点

・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）（※8）＝1点

・トライくるみん（※9）＝1点

・くるみん（平成29年3月31日までの基準）（※10）＝0.5点

青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定（ユースエール認定企業）

・ユースエール認定＝1点

上記に該当する認定等を有しない＝0点

※3 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の一部を改正する法律（令和元年法第24号）による改正後の女性活躍推進法第12条の規定に基づく認定

※4 女性活躍推進法第9条の規定に基づく認定。なお、労働時間等の働き方に係る基準は満たすことが必要

※5 常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）

※6 次世代法第15条の2の規定に基づく認定

※7 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則の一部を改正する省令（令和3年厚生労働省令第185号。以下「令和3年改正省令」という。）による改正後の

次世代育成支援対策推進法施行規則（以下「新施行規則」という。）第4条第1項第1号及び第2号の規定に基づく認定

※8 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、令和3年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条又は令和3年改正省令附則第2条第2項の規定に基づく認定（ただし、※10の認定を除く。）

※9 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、新施行規則第4条第1項第3号及び第4号の規定に基づく認定

※10 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則等の一部を改正する省令（平成29年厚生労働省令第31号。以下「平成29年改正省令」という。）による改正前の

次世代育成支援対策推進法施行規則第4条又は平成29年改正省令附則第2条第3項の規定に基づく認定